



とねしょうかわらばん

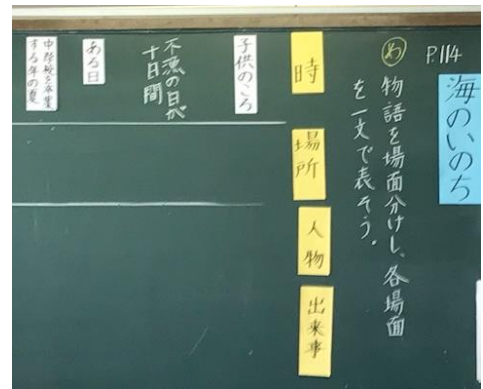
がつ かほん
10月2日版



3年生の国語では「想像を広げて物語を書こう」という学習で、物語の段落相互の関係をしっかり学習させたくて、物語のある一場面を想像を膨らませながらオリジナルの物語を作成していました。

6年生では立松和平氏の物語「海のいのち」を学習し

ています。右はあるクラスの板書ですが、物語を読み進めていくうえで、きっちと場面分けをすることが大切になります。「時」「場所」「人物」「出来事」の変わり目が場面の変わり目になるという既習事項をもとに、場面分けの学習をしていました。



低学年における物語の学習で身につけた場面分けをもとに、高学年での物語の深い読み込みの学習につなげます。



5年生は、JAの方に「大阪の農業と私たちの暮らし」というテーマで出前授業をしていただきました。日本は自給率が低く、私たちが毎日食べている食料の食品内容は、多くが輸入に頼っているという状況を、絵をもとにしてわかりやすく説明されていました。子どもたちは興味深く学習していました。この出前授業をこれからの社会の学習につなげていきます。